

弦楽合奏団

# エテルニータ

第4回コンサート

Eternita — イタリア語で“永遠”という意 —

栃木県総合文化センター サブホール

2006.6.18 (日) 2:00 P.M.

【後援】 宇都宮市教育委員会

下野新聞社

栃木放送

# Eternita

弦楽合奏団

## 『ご挨拶』

本日、栃木県総合文化センターサブホールにおきまして、弦楽合奏団「エテルニータ」第4回コンサートを開催できますことは私たちにとって大きな喜びとするところであります。

ご来場の皆様をはじめ、あたたかいご理解とご支援を賜りました多くの方々に、この場をお借りして御礼申し上げます。

この合奏団は、2000年に開催された宇都宮短期大学百周年記念コンサートでの再会をきっかけとして結成されましたが、

早いもので本日第4回を迎えることができました。

さて、今回のプログラムは、日頃ご支援をいただいているご来場の皆様方からのアンケートをもとに、リクエストの多かった曲を選曲させていただきました。

初めの曲「アイネ・クライネ・ナハトムジーク K.525」は

モーツァルトの曲の中でも親しみやすく誰もが知っている名曲であり、

今年2006年はモーツァルト生誕250周年の記念の年でもあります。

2曲目のヴィヴァルディ作曲「四季」もバロックの名曲として演奏される機会の多い曲であります。

ソリストに桐山健志氏をお招きして、日々練習を重ねてまいりました。

国内外で活躍されている桐山先生から直接ご指導をいただきながら勉強できたことは、

この合奏団にとって大きな前進であり、

同時にさらに様々な今後の課題を示唆する良い機会となりました。

心から感謝申し上げます。

まだまだ拙い演奏ではございますが、

皆様の感動をお誘いできるような演奏になりますことを祈念いたしますと共に、

皆様方のご支援に重ねて御礼申し上げ、ご挨拶といたします。

小松崎 倫子

# プログラム

## モーツァルト『アイネ・クライネ・ナハトムジーク』Bärenreiter版 (新全集)

W.A.Mozart *Eine kleine Nachtmusik*

I Allegro II Romance(Andante) III Menuetto(Allegretto) IV Rondo(Allegro)

## ヴィヴァルディ『四季』Bärenreiter版 (マンチェスター手稿譜に基づく)

A.Vivaldi *Le Quattro Stagioni*

《ソロ・ヴァイオリン 桐山建志》

### ◆ 協奏曲 ホ長調「春」作品8-1

*Concerto in Mi maggiore*  
"La Primavera" Op.8-1 RV269

I Allegro  
II Largo e pianissimo  
III Allegro

### ◆ 協奏曲 ト長調「夏」作品8-2

*Concerto in Sol minore*  
"L'Estate" Op.8-2 RV315

I Allegro ma non molto - Allegro  
II Adagio  
III Presto

### ◆ 協奏曲 ヘ長調「秋」作品8-3

*Concerto in Fa maggiore*  
"L'Autunno" Op.8-3 RV293

I Allegro  
II Adagio molto  
III Allegro

### ◆ 協奏曲 ヘ長調「冬」作品8-4

*Concerto in Fa minore*  
"L'Inverno" Op.8-4 RV297

I Allegro non molto  
II Largo  
III Allegro



桐山 建志 Takeshi Kiriya

長野県出身。3才より才能教育でヴァイオリンを始める。東京芸術大学を経て同大学院修了。フランクフルト音楽大学卒業。1998年、第12回古楽コンクール「山梨」第1位、第10回栃木「蔵の街」音楽祭賞受賞。1999年ブルージュ国際古楽コンクールソロ部門第1位。2005年、古楽コンクール「山梨」の審査員を務める。現在「オーケストラ・シンポジウム」コンサート・マスター、「エルデーディ弦楽四重奏団」ヴィオラ奏者、バロック・アンサンブル「コンヴェルス・ムジクム」「ラ・フェート・ギャラント」のメンバーを務めるなど、室内楽を中心に活動中。

フェリス女学院大学非常勤講師。

これまでにヴァイオリンを鳥羽尋子、天満敦子、岡山潔、W.フォルヘルト、バロック・ヴァイオリンをA.レーリヒ、M.ウティガー、室内楽を岡山潔、H.プフベルガー、M.シュナイダーの各氏に、作曲を小山清茂氏に師事。レコード芸術特選盤「シャコンヌ」(CAIL-728)を皮切りに、多数のCDを主にコジマ録音よりリリース。シリーズCD「ヴァイオリン音楽の領域」(ALCD-1045,1055)などでも高い評価を得る。



モーツァルト セレナード第13番 ト長調 KV 525  
"アイネ・クライネ・ナハトムジーク"

W.A.Mozart *Serenade in G dur KV 525 "Eine kleine Nachtmusik"*



ヴィヴァルディ 四季「和声と創意の試み」より

A.Vivaldi *Le Quattro Stagioni Da  
"Il cimento dell'armonia e dell'inventzone"*

アントニオ・ヴィヴァルディ(1678.3.4-1741.7.28) はイタリアのヴェネツィアに生まれオーストリアのウィーンで没した。

理髪師兼サンマルコ寺院のヴァイオリン奏者の父親からヴァイオリンを学び、10歳より教会付属の学校に入り、25歳で司祭に叙階される。そのことと、彼が赤毛であったことから赤毛の司祭と呼ばれるようになる。司祭になると同時にヴェネツィアのピエタ慈善院付属音楽院でヴァイオリンを教え始め、2年後には作曲と合奏を教えるようになる。その後、数多くの作曲をし、各地を演奏旅行して回った。1925年にアムステルダム のル・セーヌによって出版され、マントヴァのモルツィーン伯爵に献呈されたヴァイオリン協奏曲集作品8は「和声と創意の試み」と名付けられた。その最初の4曲が「四季」である。それぞれ〈春〉〈夏〉〈秋〉〈冬〉の標題を付けられ各季節が1つのソネット(4/4/3/3行から成る定型詩)で描写されている。



(四季)の版本は大きく二つあり、一つは1725年アムステルダム のル・セーヌから出版されたもの(アムステルダム版あるいはル・セーヌ版)。別な一つは1726年オットボーニ枢機卿に献呈され、1970年代にイギリス・マンチェスター市図書館で発見されたもの(マンチェスター手稿譜)。マンチェスター手稿譜は各パートのリズム、強弱その他がより厳格で演奏効果を狙った指示がある。今回は桐山氏の勤めによりマンチェスター手稿譜に基づくベーレンライター版を使用する。

(解説:川俣洋子)

Concerto in Mi maggiore

A. Vivaldi Le Quattro Stagioni



私たちが今回の演奏会を決め、楽譜を注文したのが1月27日。偶然にもモーツァルトの生まれた日でした。今年が生誕 250年目。1756年、ザルツブルグで生まれ、幼年時代から頑健でない体で演奏旅行をさせられ、1791年、36歳弱の短い生涯を閉じるまで、一生を旅で送りました。

『小さな夜の音楽』と題されたこの曲は、1787年、彼の父レオポルトが亡くなった年にプラハで作られました。彼の父がこのような曲種を好きだったことから、息子から父への弔辞であったかもしれません。

簡潔に書かれた第一楽章の主題から全楽章の主題が導き出されているため、全体の構成が非常に統一あるものとなり、澆刺とし伸びやかで自由闊達な息吹が感じられます。  
(解説：福富恵子)

# 春

春 春がやってきた

小鳥達が陽気な歌で春に挨拶する

西風の息吹に泉は

優しくささやきながら溢れ流れる

大気を黒いマントで覆いつつ、稲妻と雷鳴が選ばれ、  
春の訪れを告げにやってくる  
嵐が静まると小鳥達は  
うっとりするような歌を再び奏で始める

そして花咲く心地よい野では  
草木の葉ずれの親し気なささやきに  
牧者はお気に入りの場所へ  
まばゆい春の訪れに踊る

# 夏

夏 太陽のやけつく厳しい季節には

人も家畜の群れもけだるく、松の木は干上がる

かっこうが鳴くと、耳ざとく聞きつけて

きじばとやごしきひわも歌う

西風の精が優しく吹く  
が、その隣で突然、北風が競うように動く  
牧者は、荒々しい北風が止み時の  
自分の運命を心配して嘆く

稲妻と荒々しい雷鳴への恐れと  
怒り狂った蠅や蚊の群れのために  
彼は疲れた四肢を休められない

ああ彼の心配が現実となったとは余りのこと  
天は雷鳴を鳴らし、雷を落とし、ひょうを降らせて  
穂や誇らし気な麦の先を叩き落す

(対訳：岸本宏子)

# 秋

秋 若者は踊りと歌で

豊かな収穫の喜びを祝う

パッカスの飲み物で紅潮した大勢の者達は

楽しみの果てに眠り込む

和らいだ心地よい大気は  
人々の歌と踊りを途中で止めさせる  
大勢を快い眠りの楽しみに  
誘うのがこの季節

夜が開けると狩人達は  
角笛と猟銃を持ち、犬を連れて狩に出かける  
獣が逃げ、狩人達がその後を追う

騒がしい猟銃の音と犬の吠え声に  
驚き疲れた獣は、傷つきおびえる  
逃げ疲れ、打ちのめされて息絶える

# 冬

冬 冷たい雪の中で

過酷に吹き付ける恐ろしい風に凍え震える

絶えず足を踏みつけて走り

余りの寒さに歯の根が合わない

外は雨ですっかり濡れそぼっているが  
火の傍らで静かな満ち足りた日々を過ごす  
氷の上を歩く 転ぶといけないので  
ゆっくりとした足取りで、注意深く

急いで、足を滑らせ、転ぶ  
再び氷の上を歩き、急いで走ると  
氷が砕けて飛び散る

東南の風、北風、すべての風達が争って  
閉じた扉から入ってくる音がする  
これが冬…しかしこうして冬は喜びをもたらす

# 弦楽合奏団『エテルニータ』出演者プロフィール

ヴァイオリン

## ♪ 青柳 敬子

宇都宮短期大学附属高校音楽科、宇都宮短期大学卒業。  
増田貴子、星野和夫、吉村成司、鈴木鎮一の各氏に師事。  
才能教育研究会宇都宮支部バイオリン科指導者。  
スズキアンサンブル「弦」メンバー。

## ♪ 川俣 洋子

宇都宮短期大学附属高校音楽科、国立音楽大学器楽科卒業、  
同大学大学院器楽専攻修了。若本政蔵、井上武雄、鷺見健彰、鷺見  
四郎、石橋洋子、梅津南美子の各氏に師事。  
宇都宮にてジョイントリサイタル「ヴァイオリン二重奏の夕べ」  
開催。アルピノー二室内合奏団を経て、現在、フリーの演奏家と  
してオーケストラ、室内楽等で活動の他、後進の指導にあたって  
いる。アンサンブル・プリランメンバー。

## ♪ 小松崎 倫子

宇都宮短期大学附属高校音楽科、武蔵野音楽大学器楽学科卒業。  
故鈴木史子、吉村成司、萩原耕介の各氏に師事。現在、宇都宮市  
立旭中学校教諭。栃木県交響楽団、ベルバート弦楽四重奏団  
メンバー。

## ♪ 篠原 香乃子

宇都宮短期大学附属高校音楽科、武蔵野音楽大学器楽学科卒業。  
故 永岡国雄、吉村成司、星野和夫、掛谷洋三の各氏に師事。  
宇都宮コミュニティカレッジ、楽器店、柿ノ木坂芸術学校でヴァイ  
オリン講師を務めた。現在、柿の木幼稚園ヴァイオリン講師等、後進  
の指導にあっている。室内合奏団、オーケストラでも活動中。

## ♪ 土屋 恵子

宇都宮短期大学附属高校音楽科、上野学園大学音楽学部器楽  
学科卒業。増田貴子、吉村成司、竹内茂の各氏に師事。  
上野学園オーケストラ助手を8年、同ヴァイオリン教室講師を  
23年務めた。現在、自宅での後進の指導にあっている。

## ♪ 福富 恵子

宇都宮短期大学卒業。吉村成司、鷺見健彰の各氏に師事。  
柿ノ木坂芸術学校でヴァイオリン講師を務めた。  
現在、柿の木幼稚園ヴァイオリン講師、後進の指導にあつ  
ている。室内合奏団、オーケストラ等でも活動中。

## ♪ 村岡 聖子

宇都宮短期大学附属高校音楽科、武蔵野音楽大学器楽科卒業。  
青柳敬子、星野和夫、田尻順、ゲオルギバデフ、ヴィーツラフ・  
スニーチル(2000年ブラハサマースクールマスタークラス)、深山尚久  
の各氏に師事。2005年ベストプレイヤーズコンクール入賞。  
東京国際芸術協会新人演奏会出演。現在、カワイ音楽教室、柿ノ  
木坂芸術学校講師。真岡市民交響楽団コンサートミストレス。

## ♪ 森本 安弘

宇都宮短期大学附属高校音楽科卒業。青柳敬子、星野和夫、  
沼田園子の各氏に師事。  
2002年栃木県学生音楽コンクール弦楽器部門5位入賞。  
2003年才能教育全巻卒業。  
2004年全日本クラシック音楽コンクール入賞。

チェロ

## ♪ 荒川 育子

宇都宮短期大学附属高校音楽科、国立音楽大学器楽学科卒業。  
現在、後進の指導にあっている。  
室内合奏団、オーケストラ等でも活動中。

ヴァイオリン

## ♪ 阿久津 雅志

宇都宮短期大学附属高校音楽科、宇都宮短期大学卒業。  
鷺見健彰、吉村成司、鈴木鎮一、小林武史の各氏に師事。  
現在、才能教育研究会宇都宮支部バイオリン科指導者。  
ミュンヘンにて行なわれた指導者大会に参加。韓国(2回)、  
オーストラリアにて演奏とバイオリン指導など多数。  
スズキアンサンブル「弦」メンバー。

## ♪ 川沼 文夫

宇都宮短期大学音楽科バイオリン専攻、東京芸術大学別科  
ビオラ専攻卒業。立花和夫、吉村成司、鷺見四郎、中塚良昭、  
鈴木鎮一の各氏に師事。  
現在、才能教育研究会宇都宮支部バイオリン科指導者。  
スズキアンサンブル「弦」メンバー。

コントラバス

## ♪ 増山 一成

宇都宮短期大学附属高校音楽科、東京芸術大学音楽学部  
器楽科卒業。ウィーン国立音楽大学に留学。沖不可止、今村  
清一、江口朝彦、小野崎充、ルートヴィヒ・シュトライヒャー  
の各氏に師事。現在、読売日本交響楽団コントラバス首席  
代行、東京ハルモニア室内オーケストラコントラバス奏者、  
宇都宮短期大学附属高校音楽科非常勤講師、エローラ  
アンサンブルオーケストラメンバー。

オルガン

## ♪ 沼尾 美和子

ウィーン音楽院ピアノ、チェンバロ科卒業。ディプロム取得。  
ウィーン音大ハウアー12音クライス研究員。在学中、音楽祭や  
ラジオ放送に出演。古楽奏法をモーツァルトゥムにてN.アル  
ノクールに師事。  
帰国後、チェンバロ、フォルテピアノソロや東京ソリストの  
国内外のコンサートに出演。東京オペラシティにて『チェンバロ・  
デュエット』リサイタル。長野SBC放送アンサンブルトレーナー。  
とちぎ古楽協会音楽監督。CD『CARILLON』93 Wien

エキストラ

## ♪ 玉川 克 (チェロ)

宇都宮短期大学附属高校音楽科卒業、桐朋学園大学カレ  
ッジディプロマコース修了。宮田豊、尾形篤信、増淵滋、林  
峰男、倉田澄子、花崎薫の各氏に師事。室内楽をゴールド  
ベルク山根美代子氏に師事。マリオ・ブルネロ、ジャン・  
ギアン・ケラス両氏の公開レッスンを受講。  
1996年栃木県学生音楽コンクール弦楽器部門1位入賞。  
1998年札幌チェロジュニアコンクール奨励賞、日本クラシック  
音楽コンクール3位入賞。2003年「若い人のためのサイトウ  
キネン室内楽勉強会」参加。ソロ、弦楽四重奏団「昴」でリサ  
イタルを開くなど、室内楽、オーケストラなどで活躍中。

## ♪ 宮坂 俊一郎 (チェロ)

国立音楽大学卒業。2004年アンサンブル ノーヴァとハイドンの  
チェロ協奏曲を共演。現在、国立音楽大学非常勤講師を  
しながら、ソロ、室内楽、オーケストラなど幅広く活動中。

## ♪ 弦楽合奏団「エテルニータ」メンバー

violin 片山 淑子    viola 小崎 えり子